

平成 28 年 11 月 1 日

各 位

会社名 株式会社シード
 代表者 代表取締役社長 浦 壁 昌 広
 (コード番号 7743・東証二部)
 問い合わせ先 取締役管理本部長 片山 和弘
 TEL 03-3813-1111 (大代表)

平成29年3月期 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年5月11日付当社「平成28年3月期決算短信」において発表いたしました、平成29年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想（ともに連結・個別）の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想の修正

①連結第2四半期累計期間業績予想の修正

(単位：百万円※単位未満切捨て表示)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	11,200	400	350	160	19.17 円
今回修正 (B)	12,029	766	591	325	39.01 円
増減額 (B - A)	829	366	241	165	—
増 減 率	7.4%	91.7%	68.9%	103.4%	—
参考：前年同期実績	10,452	357	329	156	18.28 円

②個別第2四半期累計期間業績予想の修正

(単位：百万円※単位未満切捨て表示)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	10,500	390	360	150	17.98 円
今回修正 (B)	11,297	801	648	387	46.48 円
増減額 (B - A)	797	411	288	237	—
増 減 率	7.6%	105.6%	80.2%	158.6%	—
参考：前年同期実績	9,814	379	355	95	11.13 円

2. 平成28年3月期通期（連結・個別）業績予想の修正

①連結通期業績予想の修正

（単位：百万円※単位未満切捨て表示）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	23,500	1,000	900	500	59.92円
今回修正（B）	24,400	1,420	1,180	670	80.29円
増減額（B－A）	900	420	280	170	—
増減率	3.8%	42.0%	31.1%	34.0%	—
参考：前期実績	21,826	895	834	492	57.73円

②個別通期業績予想の修正

（単位：百万円※単位未満切捨て表示）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	22,000	980	880	480	57.52円
今回修正（B）	23,000	1,350	1,150	660	79.09円
増減額（B－A）	1,000	370	270	180	—
増減率	4.5%	37.8%	30.7%	37.5%	—
参考：前期実績	20,609	906	841	378	44.39円

3. 修正理由

〔個別〕

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、緩やかではありますがものの市場の成長基調を背景に、使い捨てコンタクトレンズが牽引役となり売上高が伸長しております。特に、主力カテゴリーである1日使い捨てコンタクトレンズにおいては、前期より注力しておりますスペック拡充や広告宣伝の投下による「ワンデーピュアシリーズ」の乱視用の伸長や近視・遠視用の続伸、また、サークルレンズ各アイテムの伸長等により、当初予想を上回ったため、売上高を11,297百万円（公表対比+797百万円）に修正しております。

この売上高の伸長により、粗利益額も当初計画を3億円ほど上回る見込みであり、加えて、今期は新製品の投入がなくトライアルレンズの出荷が計画を下回ったことや、物流関連費用の削減効果等により、科目毎での増減はありますものの、販管費全体では計画内に収まることとなります。これらにより、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましても、上記のとおり当初予想を大幅に上回る見込みです。

下期につきましては、第2四半期累計期間迄の趨勢を元に、コンタクトレンズを中心とした各カテゴリーの精査を実施し、「ワンデーピュアシリーズ」の伸長を主軸とした下期の修正見込みを反映させまして、通期売上高を23,000百万円（公表対比+1,000百万円）とすることといたします。

利益につきましては、業容拡大に伴う人件費やブランド認知のための広告宣伝費の増加、将来の競争力、収益力増強を見据えた研究開発費や共同研究費用の投下を見込んでいるため、伸長幅は鈍化いたしますものの、第2四半期累計期間迄の進捗等を鑑みまして、通期の営業利益を1,350百万円（公表対比+370百万円）、経常利益を1,150百万円（公表対比+270百万円）、当期純利益を660百万円（公表対比+180百万円）にそれぞれ修正いたします。

〔連結〕

連結業績予想につきましては、個別の業績予想ベースに、各子会社の第2四半期累計期間迄の推移や、海外での販売状況ならびに国内小売市場における市況動向等を勘案した予想数値となっております。

【業績等の予想に関する注意事項】

当該資料に掲載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

以 上